

名古屋大学高等教育研究センター 第48回客員教授セミナー

フランスの大学教員はいかに養成されるか 大学教員準備教育センターの経験

サイード・ペヴァンディ 氏

パリ第8大学准教授

講演概要

フランスの大学では、大学院生の中から選抜された者を特別講師(モニター)として雇用し、実際に授業を担当させている。応募の条件は、大学院博士課程に在籍中であること、選抜制の特別研究奨学金を受給していることである。数日間の研修を受けつつ、年間64時間の授業を担当している。

本セミナーでは、彼らを対象に行ったアンケートの結果などをもとに、フランスで大学教員がいかに養成されるかを明らかにする。特別講師として彼らが実際にどのような体験をしているか、大学教員職に対してどのような感想を抱いているか、大学の教育活動に対していかに対処しているかを明らかにする。若き大学人たる彼らが、いかにして大学教員としての職業上のアイデンティティを獲得しているのか、教育担当者として研究と教育の結合にいかに努力しているかについても言及する。

日時：2009年9月4日(金)

15:00~17:00

場所：名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館 5階 509会議室

言語：英語（通訳なし）

お問い合わせ：

久保田（内線5696）

052-789-5696

info@cshe.nagoya-u.ac.jp